

【高等学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 佐賀県立多久高等学校

1 前年度 評価結果の概要
・コロナによる臨時休校がある中、どうにか計画していた1年間の指導内容を実施することができた。しかしながら、資格試験等が相次いで中止となり、各系列で計画していた資格取得ができなかった。

2 学校教育目標
◎「自分の夢を形に」…校訓「仁愛・自主・創造」のもとに、教職員と生徒が敬愛と信頼のなかで、文教の風薫る校風の創造をめざすとともに 自らの夢を描き、目標に向かって挑戦する意欲を持ち、その実現へ前進する「知・徳・体」の調和のとれた、心身ともに健全な生徒を育成する。

3 本年度の重点目標
①わかる・力がつく授業の実践(新教育課程の検討含む) …… 基礎学力の向上、専門的な知識・技能の習得、現代社会への対応力やこれからの職業観の育成
②学びのための環境づくり …… 「いじめ」の防止対策の推進、情報モラル教育の推進、自律心の育成、ボランティア精神の涵養

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組
評価項目 取組内容 具体的取組
●学力の向上
○基礎学力の定着と進路意識の向上
○資格取得の奨励と学力及び専門性の向上
○健康福祉系列…介護職員初任者研修の充実。福祉環境コーディネーター3級検定合格8割以上を目指す。
○工業技術系列…三級技能士などの取得向上、ジュニアマイスターシルー基準達成者5名以上を目指す。
○商業ビジネス系列…3種目以上1級取得者10名以上を目指す。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目
重点取組
評価項目 重点取組内容 具体的取組
○生徒会活動・部活動の活性化
○ICT教育
○キャリア教育

5 総合評価・次年度への展望
◎…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
・3年生への就職・進学への対応は概ね良好であった。今後は、女子の割合及び進学希望者が増加していることへの対策を十分に検討する必要がある。